

請負業者向け安全要件プロトコル

請負業者は、作業を実行する際に、適用されるすべての安全衛生、環境に関する規制（EH&S）および Otis の 安全衛生・環境 基準を遵守することに同意するものとします。請負業者は特に以下に努めますが、これらに限定されません。

管理の要素	要件
安全衛生・環境 法令	適用されるすべての安全衛生・環境に関する法律、規定、規制を遵守してください。 業務遂行に必要な免許や資格（業許可、特殊装置に関する許可、特殊作業の資格、労働者資格を含む）をすべて取得してください。
Otis 安全要件	Otis のすべての安全要件および指示に従ってください。これには以下を含みますが、限定されません。 - 基本的な 安全衛生・環境の規則と規制（*）ならびに Otis グローバル安全基準 - 関連するすべての現場工法（現場据付マニュアル、修理マニュアルなど） - 関連する Otis FPA（死亡事故防止監査）および現場安全手順 (*) 基本的な 安全衛生・環境の規則と規制 - 次の 関連法規制、安全推進指針、工務指針 ・ Otis カーディナル・ルール ・ 電力遮断 (LOTO) ・ 電気の安全 ・ 墜落防護 ・ 個人保護具 (PPE) ・ 有害廃棄物、大気や水質汚染の規制を含む、環境規制 ・ 作業停止権限 (SWA) ・ 火気使用作業工事 ・ 高圧ガス ・ 機械防護 ・ 漏洩と緊急対応 ・ 閉塞的空間への立入り ・ 産業用動力車両 ・ 足場要件 ・ アスベスト規制 ・ 通路と作業面 (はしごを含む)
作業者の トレーニングと資格	請負業者の作業員（請負業者で働くあらゆる人：従業員、契約社員、派遣社員、および指示・監督下の人員）が、その責務を十分に認識していること、ならびに作業を実施するために必要な技量と能力を備えていることを確認してください。Otis の要請に応じて、作業員をすべての技術トレーニングや安全トレーニングに参加させる必要があります。 特定されている現場の危険、規制、Otis要件（緊急対応など包括的な現場状況の把握を含む）について、適切で最新のトレーニングを提供し、現場の全作業員が受講したか確認してください。 作業の開始前に、基本的な 安全衛生・環境の規則と規制についてのトレーニングを提供し、全作業員が修了したか確認してください。 ・ 新設、改修、BEX、大規模修理の請負業者は、上記に加え以下を修了する： ・ 該当する、遵守すべき現場工法（現場据付マニュアル）の具体的なトレーニング ・ 墜落防護、エレベーターとエスカレーターの管理、電気動力と機械動力、楊重と吊り、足場、ゴンドラと走行作業台、ジャンパー、ジャントと個人保護具の具体的なトレーニング ・ サービス、点検、修理、製品の機能向上 (PUI) の請負業者は、上記に加えて以下を修了する： ・ Otis 現場標準作業手順書 (FSP) に指定されている、危険作業の技術トレーニング 請負業者の作業員の、技術基準と安全基準の理解度評価のため適切な手段（非通知のテストや監査など）を全て講じてください。 作業現場の（予定者を含む）全請負業者作業員のトレーニング修了記録を回収、保管して Otis要請に応じて提出してください。 Otis との契約期間中は、以下のOtis 要請に応じてください。 ・ 安全大会を開催するか、Otis主催の安全大会に参加する ・ 参加作業員は、追加トレーニングに参加して関連する修了証を獲得する Otis のトレーニングと年次認証に参加してください。 請負業者が、Otis の仕事を継続するためには、年次認証の承認が必要です。

請負業者向け安全要件プロトコル

管理の要素	要件
工具と機器	Otis の標準手順書で指定されている重要な工具と機器は、Otis の要求仕様を満たしている必要があります。 <u>新設、改修、BEX の現場で使用する重要な工具と機器</u> 以下は Otis が提供します（または、Otis仕様に従い請負業者が購入する）： ・ 親綱、吊元、ハーネスを含む墜落防護具 ・ NOW作業台（ゴンドラ） ・ チルクライマー（人運搬用揚重機） ・ NOW作業台やゴンドラの頭上保護具（*） ・ Otis が設計し請負業者に使用するために配送を承認された作業台・トップステージ（*） （*）Otis の設計と仕様に従い、請負業者やゼネコンが構築することも可能 請負業者は、責任下の全作業員に、十分な数と頻度で、必要な認定済み個人防護具を提供してください。加えて、個人防護具の使用方法を指示して、全作業員が必要に応じて正しく着用、使用するよう徹底してください。
リスクアセスメント	現場リスクアセスメントの手順に従い、作業員を管理し、理解と遵守を徹底してください。 以下の作業前アセスメントは必須です。 ・ 新設、改修、BEX、大規模修理 - プリスタート承認： Otis 監督者からの、作業開始の事前承認 ・ クリティカルステップ承認： Otis リスクアセスメントのグローバル スタンダードに従い、すべてのクリティカルステップの Otis監督者からの承認 ・ ハイリスク作業： 火気使用作業、閉塞空間への立入り ・ 作業事前承認： Otis安全衛生・環境 担当責任者からの作業開始前の事前承認 危険物のすべての規制と Otis基準を遵守してください。請負業者の作業員に十分な指導と指示を提供してください。
監督	無許可の作業員や周辺の関係者、サービス手順や安全要件の理解や知識を十分に証明できない請負業者の出入りを防いでください。 プロジェクトや現場の契約に含まれる承認済みの作業員をできるだけすみやかに（契約署名時が望ましいが、着工日より前）指定し、承認済み作業員の氏名と、その作業員がトレーニングを修了し、前述の条件を満たしていることを証明する書類とともに、Otis に提供してください。 以下を満たす作業員のみを従事させてください。 ・ 作業の実施に必要なスキル、経験、健康、体調、倫理をすべて備えている ・ 適用法と Otis が規定する資格や許可をすべて所持している（特殊装置運転の資格、電気技師許可、溶接工許可、クレーン専門の運転資格証、足場組立認定証、安全資格認定証、品質検査認定証） 以上の資格や許可のいずれもサービス提供期間内に有効期限切れにならないことが必要 ・ 政府当局、請負業者と Otis が要求するすべてのトレーニング プログラムを修了している ・ 安全基準と作業工法を理解し、習得している 請負業者の作業員全員が、（Otis 現場据付マニュアルで説明されている品質、安全、監督、納期通りの据え付け基準を含むOtis 据付要件を遵守する責任があることを認識させてください。 次のページへ続く

請負業者向け安全要件プロトコル

管理の要素	要件
監督	すべての新設、改修、BEX 現場で、最低でも以下の監督を実施してください： ・ 6 人以上の請負業者の作業員がいる単独現場は、現場作業チームの専任リーダーか職長 1 人 ・ 30 人以上の請負業者がいる単独現場は、現場専任の巡回監督 1 人 作業現場で請負業者の作業の監督と調整を行うが、直接に機器の据え付けは行いません。 すべての作業現場チームの専任リーダーと職長が自らの監督責任を認識し、請負業者の作業員とその作業を効果的に監督するうえで必要なスキルと能力を持つようにしてください。 作業員が不安全、不道德、否定的な行動を犯した場合や、本安全規定に違反した場合、またはそのような行為を犯す可能性がある作業員は、ただちに現場から排除してください。
査察と監査	現場で定期的な安全パトロールを実施してください。 自身の調査と、根本原因が特定された欠陥に基づいた是正と予防措置を講じてください。
事故報告	請負業者の作業員が関わるすべての死亡事故と重傷事故、休業災害、潜在的な重大災害、ニアミス、環境への漏洩、土壌、大気、水の汚染は、Otis の監督者、管理者、安全衛生環境責任者のいずれかに報告してください。 死亡事故や重傷事故の事例は、30 日以内に調査してください。 現地の Otis 事業所の管理者にすべての発見事項を提出し、共に調査結果（根本原因、是正措置、予防措置を含む）を確認してください。 Otis の調査に全面的に協力してください。これには、聞き取り調査に対する作業員の協力、関連文書作成、根本原因と是正措置の決定などが含まれますが、これらに限定されません。